

USHA Japan 第 28 回議事録

2022 年 2 月 19 日(土) 15:00~10:30

場所: ZOOM 会議

出席者: 小野、酒井、橋本、田端、金子、Prakash、Purushottam、井村、滝井(敬称略)

1. 報告事項

1) 渉外活動(小野)

ときわ病院へ訪問し、参与興梶氏と池田氏に本 NGO の活動報告を小野と井村で行った。

2) ネパール情報 (Prakash)

- ネパールからの特定技能人材の来日について規制が緩和され、順次入国できるようになったが、待機者が一斉に入国手続きを行っているため、手続きに遅れが生じている。入国し仕事を始められるには時間がもう少し時間がかかる。
 - 日本国内で学生ビザを持つネパール学生が、特定技能ビザへの在留資格を得ている。ネパールでの待機者が入国できれば特定技能で働くネパール人が多くなる。(現在の HANAMIZUKI 関係の待機者は 60 名)
 - Dogwood を中心にサポートを実施予定。USHA Japan としても何かサポートできないか検討。
- 3 月 19 日にホーリーのイベントを実施予定のため参加する方法を検討。具体的な案が決まれば改めて報告。

2. 審議

1) 新年度への取り組み

事務局(木下、井村)

HP の刷新

- 木下理事より現在の HP が無料版のためできることが少なくアピールに足りないため、有料版の検討提案あり。理事会承認があれば実施予定。現在 Facebook の運営を行っているが Instagram 等を使い写真でのアピールを実施したいと思っている。現在具体的な案を構想中。木下理事と事務局長を中心に Prakash 副会長の助力も得て推進する。

会費納入について

- 従来から書面やメールで納入をお願いしてきたが、十分な反応が得られていない。

規約は 1 年間以上と規定されているが、以前に理事会で暫定的に 3 年間とすることで承認されている。従って 3 年間の会費滞納をもって退会する旨を次年度総会で提案する予定。

この度の新たな組織改革に伴い、今年の 3 月をめぐりに 3 年間納入がない場合は会報などの情報配信を中止し、連絡通知に反応がないことを確認して退会とする。

プロジェクトチーム(Prakash、田端)

人材育成・教育生活支援活動

- これまでの試験合格した来日待機者に替わり、今後試験を受ける勉強中の学生を対象とした日本の習慣などを伝える活動を行う。これまで成果を挙げているオンライン交流会を継続したい。

草の根交流とメディア活動(Purushottam、Duakal Bindu)

- USHA Japan が主体的に NRA との活動を検討、活動がうまく進める事ができれば活動の映像を作成し HP への掲載も可能。

ネパールの健康で豊かな国づくり協力活動(酒井)

- 助成金の申請提案: 2 件 (アドラ国際援助基金 他)
- 条件等事務局で確認後、申請意思を酒井先生へご連絡。活動実績は重要な部分となる。創設後年数が重なるほど補助金を獲得するのは難しくなるため、早期に対応が必要

2) 規約の見直し

チーム編成

- 創設後 3 年の活動の中で組織や活動内容の実態と規約に齟齬が生じてきている。橋本監事と小野会長とで規約の見直し作業を行い、逐次に理事会へ報告して次年度総会にて承認を得るよう準備を進める

3. その他

- トヨタ財団申請 結果 3 月末の予定。
 - 日本に来ている特定技能の方々へのサポート
- Prakash 副会長を中心に USHA Japan としてのサポートを検討。

次回会議予定 3 月 26 日(土) 15:00~16:00